

現地理解教育の観点を踏まえた年間指導計画の作成

前グアナファト日本人学校 教諭

広島県府中市立府中明郷学園 教諭 浜井綾子

キーワード 在外教育施設、メキシコ、現地教材開発、国際交流、年間指導計画

グアナファト日本人学校

Instituto Educativo Japonés de Guanajuato, A.C.

URL : <https://gtojschool.jimdofree.com/>

1 はじめに

国内での在籍校である、広島県府中市立府中明郷学園は、1年生から9年生が在籍する「義務教育学校」として、数々の研究に取り組んでいた。その中でも平成26年度より「コミュニティスクール」の研究指定校となり、地域の中の学校を意識しながら学校の中にも地域を取り入れて教育を行っている。学校と地域が深くつながることは、教職員だけではなく周辺の大人たちが一丸となって児童生徒を育てていく、という大きな利点がある。在籍校での研究を生かし、グアナファト日本人学校においても「地域の中の学校」を意識し、現地と深くつながることができる教材や人材を開拓し、さらに年間指導計画に組み込むことに力を入れて勤務した。

2 生活科 現地理解教育

(1) 植物を育てよう

小学校低学年の児童にとって、植物を育てることは、重要な学習である。植物の観察、収穫体験は季節の学習として3年生以降の理科の学習につながってくる。重要な学習であるのにも関わらず、開校以来、畑で植物を育て、無事に収穫体験できた例がなかったと前任者より引継ぎがあった。原因は「ハキリアリ」であるということであったが、害虫対策をすることで育つのか、別の原因があるのかは1年間畑作りをしてみないと分からなかったのが現状である。

1年目は、まず、4月の内に、土おこしと土の成分調査(Phテスト)を行った。もともと畑ではなかった土地であることから、メキシコ芝の根が深くはっていた。またPhテストの結果、日本の土壌とは違うPh値であったこともあり、大人の手で畝2本分のみ畑を整備することから始めた。その後、生活科の授業で、夏野菜を中心に、メキシコ国内のスーパーマーケットでも売られている野菜・植物を児童に選ばせ、種を植えた。

(2) まちたんけん(校外学習)

派遣期間2年間における校外学習開拓は以下の8箇所。

- イラプアト動物園
- スーパーひまわり(日本食スーパー)
- イレクア公園
- H・E・B(アメリカ系大型スーパーマーケット)

- TOYOフーズ (日本食スーパー)
- La Comer (メキシコ系大型スーパーマーケット)
- イラプアト郵便局
- グアナフアト大学

校外学習の開拓にあたり、小学部低学年の生活科で学習する内容に沿って考えた。他教科との関連をもたせられる内容、児童の生活体験を増やすことにつながる内容、この2点を重視して行き先を開拓した。



イラプアト市の治安上、「まちたんけん」を安全に行うことが最優先だと考える。そこで下見と見学先との打ち合わせに加え、学校から警備員と警察官への同行の依頼を含めて計画を立てた。

第一回目の「まちたんけん」では、スーパーでのお買い物体験、日本食スーパーでの質問、現地公共施設への訪問(公園)を実施することができた。事前学習として、日本食スーパーへの質問事項を考えたり、教科書や動画で日本のスーパーや日本の公園の様子について学んだりした。児童は、日本の町や公園の様子との違いに関心を寄せながら見学をすることができたようだ。

年度が変わり、再び低学年部で「まちたんけん」に行くことになった。前年度、まちたんけんに参加した児童もいることから、行き先を変えて行うことにした。公共施設を公園から郵便局に変更したが、日本人の郵便局の利用率がかなり低いことから、郵便局の実態について知ることから始めた。メキシコ人の学校事務員を同行して下見を行った上での見学可否判断となった。

3 生活科 他校との交流

(1) 学校たんけん

第1学年1学期の生活科では、「がっこうだいすき」という単元を通して学校のことを詳しく知り、学校を好きになることを目的とした学習が設定されている。本校では、第2学年と合同で生活科を学習するため、日本の学校を1年間経験してきた児童に、日本の学校の様子を聞き、日本人学校との違いを探しながら学習を進めた。「違い」という視点で学校たんけんを行うと、「日本の学校に紹介したい日本人学校のこと」を挙げることができた。自分たちでタブレットを持って校内を回り、撮影したりインタビューをしたりしながら、学校の設備や働く人などについて調べた。それを編集し、1本の動画にまとめたものを、日本の学校(広島県府中市立府中明郷学園、尾道市立三幸小学校)へ送った。また、その日本の学校からもビデオを送っていただき、日本の学校の様子についても学んだ。

(2) 学校について紹介しよう

前述「がっこうだいすき」の学習で学んだことを生かし、メキシコ国内または近隣国にある日本人学校と交流できないかと交渉した。メキシコシティにあるメキシコ学院、アグアスカリエンテス日本人学校のメキシコ国内2校、そしてコスタリカのサン・ホセ日本人学校の先生方に連絡をとり、アグアスカリエンテス日本人学校の低学年の先生が交流を前向きに検討してくださるということから、そちらとの交流が実現した。日本国内の小学校との交流では、「国の違い」に驚く児童が多かったが、今回はメキシコ国内同士ということもあり、何を

紹介したら良いのか迷う姿もあった。内容について話し合いをする際、「学校のよさ」を紹介したいという思いが出て、その内容で「学校クイズ」をお互いに出し合うということに決定した。校長先生からの依頼、担任同士のオンラインミーティングを経て、時差なしの交流が可能となった。

4 学校行事 国際交流

(1) 現地校との交流

開校以来1回しか行われていなかった本行事だが、2022年、2023年は対面での交流会が実現した。開催校 Alexander Bain校は、本校設立前、日本人補習授業校として教室があったことから、日本人学校とのつながりが深い。先生方も本校に知っている児童生徒が在籍していることから、とても友好的に話を進めることができた。

2022年度の交流会は、初めての対面交流会ということで、オンラインでの会

議を数回、直接 Alexander Bain校に出向いての打ち合わせと、回を重ねて計画を練った。日本人学校からは文化交流6種類（けん玉、お手玉、竹とんぼ、羽子板、漢字の名前プレゼント、折り紙）、Alexander Bain校からは、ピニャータ作り体験、ロテリア（ビンゴゲームのようなもの）を準備することになった。

当日は、お互いの校歌を披露し合い、文化交流で楽しそうにメキシコ人と関わり合う児童生徒の姿があった。週1回のスペイン語や英会話の授業で学んだ、いくつかのフレーズを使ってみたい、身振り手振りを交えて何とか伝え合おうとしていた。また、後半は予定していなかったがサッカーやバレーボールが始まり、自由にスポーツをして遊び、汗を流して交流することができた。

2023年度は、前年度の流れをほぼ変えず、精選するところだけを精選して行った。文化交流は、「メキシコの文化をもっと知りたかった」という声から、日本人学校側のチームを3種類に減らし、自由に回れる時間を増やした。また、自然にスポーツを楽しんでいた姿から、後半はスポーツ交流の時間をとることにした。前年度は基本マスク着用だったため実現しなかったが、2023年度は「軽食休憩」を入れることができ、スペイン語や英語で会話をする時間を確保することもできた。

日本に古くから伝わる遊びに触れ、海外に住む日本人学校の児童生徒にとっても、改めて自国の文化を知るよい機会となった。また、その遊びをメキシコ人が楽しそうに挑戦している姿を見て、自国の文化を誇りに思えたようだ。

(2) 現地大学へのまちたんけん

2022年度、本校教職員が近隣のグアナファト大学に視察に行くことができた。それから何度か大学側に児童生徒の校内見学を申し出て、2023年度、小学部低学年でのまちたんけんを実施することができた。本校理

↓ Alexander Bain校との打ち合わせ資料



Evento: Intercambio Cultural México-Japón 2023

Liga del Cronograma (Centro de Servicio se encarga de llenarlo: https://docs.google.com/spreadsheets/d/1Q0vEEiJsK9onxlrMzMOgAZK_q2_FjnxRZiv02mCCOp/edit?usp=sharing)		
Lugar ^{1,2}	Cancha de Fútbol Chica ³	
Fecha y Horario ²	Jueves 14 de diciembre 9:15 a 11:30 am ^{2,3}	
Participantes ²	Por parte de la Escuela Japonesa participarán: ⁴ Total 58 alumnos ⁴ Total Maestros: 12 ⁴	Por parte del Alexander Bain participarán los grupos de: ⁴ 2oA 15 alumnos ⁴ 5oA 26 alumnos ⁴ 7o 15 alumnos ⁴ Total 56 alumnos ⁴ Total de maestros: ⁴ Eunice, Lety, Vanessa ⁴ Ma José, Tovar, Lizette, Varo López ⁴ Artemisa, Sabás, Alina, Acala y Martha Elisa ⁴
Programa ²	9:15 a 9:30 ⁴ 9:30 a 10:15 ⁴	Los alumnos de la Escuela Japonesa llegan en su camión y entran por la puerta 4. Nos reuniremos en el centro de la Cancha de Fútbol, ahí estarán esperando los alumnos de AB para darles la bienvenida. ⁴ Miss Gaby Duarte da unas palabras de bienvenida y los alumnos de AB presentan un villancico. ⁴ Los alumnos de la Escuela Japonesa cantan una canción en japonés. ⁴ Los alumnos de AB y de la escuela japonesa que atenderán cada estación de trabajo se colocan en la misma y se da una explicación sobre las opciones de actividades que se tienen contempladas. Estos alumnos que imparten la actividad irán cambiando conforme los tiempos que tengan organizados cada una de las escuelas. Los alumnos pasan en grupos a cada actividad y van cambiando de stand . ⁴

事の杉田名誉教授（グアナファト大学）を通じて、大学の学長と農学部の教授と連絡をとっていただき、事務員2名とともに打ち合わせに出かけた。

まず、こちらの希望の活動内容は、飼育園での動物たちの写生会、農園見学ということをつづけた。そこで、Copal村の幼稚園児が度々見学・体験会に訪れているので、そのような内容でどうか、と大学側から提案をいただいた。一度、日本人学校教員が、その幼稚園児の体験会を見学に行くことに決定。見学をさせていただきながら、当日の詳細打ち合わせをすることになった。幼稚園児の体験会では、農園での農作業体験や、採れたて野菜のピザ作り体験など多岐に渡るそうだ。非常に外部受け入れに対して、柔軟で寛容であった。

当日、飼育園の説明には学部の大学生が、苗植えと種植え体験には農学部の教授と助教授、チレ（とうがらし）のグリーンハウスの説明に教授が、それぞれ非常に協力的に参加してくれた。日本人学校の児童に興味を持ってそうな、そして理解しやすくなるような説明をしてくれた。児童も、熱心に話を聞くことができ、生活科で取り組んできた畑仕事をよく思い出しながら作業をすることができた。

5 図画工作科 現地文化理解

(1) ピニャータ作り

ピニャータは、16世紀以降メキシコでクリスマスのミサのために催される悪魔祓いの儀式が起源である。現在は、毎年クリスマスや誕生日のお祝いで、ピニャータにお菓子を詰め、それを棒で叩き割るというイベントが行われている。メキシコ人にとっては、とても身近なもので、大小様々なピニャータを手に入れることができる。

2022年度は、小学部1～4年生全員が1作品ずつ、2023年度は、小学部1、2年生が2人で1作品を仕上げた。

初年度、イラプアト市のピニャータコンテストに出品する話がきたことから始動した。メキシコ人の先生にお越しいただき、土台作りから全て教わった。3週にわたり6時間、ご来校いただいた。材料の調達は事務員（メキシコ人）が、ピニャータ用の小麦粉糊作りや、体育館の場所作り、材料の用紙裁断など、様々な場面で学校全体の教職員が関わった。児童は、校外学習で動物園に行ったばかりということもあり、ほぼ全員が動物をモチーフにしたピニャータを作り上げた。

土台作り→飾り付け→仕上げという作業の中、乾燥させなければならないため、1週間あけたが、その間にも授業の時間を変更して追加で作業しないと間に合わなかった。2022年度は、6時間程度生活科や図画工作科の時間を追加で使い、2023年度もバス待ち（時間外）を3時間追加した。



